

4	法定	自主
	○	

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和5年6月23日

川崎市長 殿



提出者

住所 川崎市中原区井田2-27-1

氏名 川崎市立井田病院 病院長 伊藤 大輔

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 044-766-2188

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	川崎市立井田病院		自主管理番号 (3095)
事業場の所在地	川崎市中原区井田2-27-1		TEL(連絡先): 044-766-2188
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)		
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	P-医療、福祉 (具体的には) 病院		
② 事業の規模 ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円
	医療機関	病床数	383床
	その他の業種	売上高	百万円
(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
③ 従業員数	1000人		
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程 ※ 特別管理産業廃棄物の種類ごとに記入	各病棟等発生場所⇒保管場所へ移動⇒収集運搬業者により搬出⇒中間処理業者により処理⇒中間処理業者から最終処理業者へ運搬⇒最終処理		

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
別紙参照(管理組織)	

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類数	2 種類
	① 排出量	179.60 t
		* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【(令和5年度)目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類数	2 種類
	① 排出量	179.60 t
		* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)	

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	
① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特別管理廃油、感染性廃棄物
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特別管理廃油、感染性廃棄物

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	⑤ 自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t
	⑦ 自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0	t
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	⑤ 自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量		t
	⑦ 自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量		t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】
	③+⑨ 自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量 0 t * 種類ごとの前年度自ら埋立処分を行った量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)
② 計画	【(令和5年度)目標】
	③+⑨ 自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量 t * 種類ごとの本年度自ら埋立処分を行う量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】
	⑩ 全処理委託量 179.60 t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 179.60 t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量 0 t * 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 0 t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0 t
	(これまでに実施した取組)

② 計画	【(令和5年度)目標】	
	⑩ 全処理委託量	179.60 t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	179.60 t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。	
	(今後実施する予定の取組)	
電子情報処理組織の使用に関する事項(電子 manifests の使用に関する事項)	【前年度(令和4年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物排出量 (ホリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	179.60 t
	(今後実施する予定の取組等)	
※ 事務処理欄		

備考

- 1 この様式は、前年度(令和4年度)の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
また、前年度(令和4年度)の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和5年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分にに関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入してください。なお、中間処理を行うことにより、特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量を含めて記入してください。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という)第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度(令和4年度)の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入してください。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入してください。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 9 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

別紙(管理組織)

令和5年度井田病院廃棄物管理組織図及び別表 (要綱第4条第5項関係)

院内感染対策(廃棄物処理対策)委員会	⇔	発生場所	管理者
		外来	師長
委員 長		手術室	師長
感染内科 医		6階西 新型コロナ	師長
副委員 長		HCU・CCU	師長
感染内科 医		救急センター	師長
感染 看護師		3階西 救急後方	師長
委員		4階西 地域包括ケア	師長
院長		4階東 内科・混合外科	師長
副院長		5階西 消化器外科	師長
院長補佐		5階東 循環器内科	師長
事務局 長		6階東 呼吸器	師長
呼吸器内科 医		7階西 腎・泌尿器	師長
看護部 担当者		7階東 透析センター	師長
薬剤部 担当者		緩和ケア・PCU	師長
放射線科 担当者		在宅ケア	師長
検査科 担当者		リハビリテーション科	担当課長
食養科 担当者		検査科	担当課長
庶務課 担当者		放射線科	担当課長
医事課 担当者		薬剤科	薬剤部長
書記		医事課	課長
庶務課 労務研修担当 担当者		食養科	科長
(特別管理産業廃棄物(感染性廃棄物)管理責任者)		庶務係	庶務係長
感染対策室 看護師		経理係	経理係長
(特別管理産業廃棄物(感染性廃棄物以外)管理責任者)		管理係	管理係長
庶務課 管理係 担当者		売店((株)ローソン)	責任者
(事業系一般廃棄物管理責任者)		食堂(雅合同会社)	責任者
庶務課 管理係 担当者			

特別管理産業廃棄物処理計画書

別紙一括表

事業場名称: 川崎市立井田病院

4-1-1 法第 〇 頁

項目	ア 特管廃油	イ 特管強酸 (pH2以下)	ウ 特管酸/弱酸 (pH2.5以上)	エ 感染性 廃棄物	オ 廃PCB等	カ PCB汚染物	キ PCB処理物	ク 指定 下水汚泥	ケ 有害鉱さい	コ 廃石綿等	サ 有害ばいじ ん	シ 有害燃え殻	ス 有害廃油	セ 有害汚泥	ソ 有害廃酸	タ 有害 廃アルカリ	チ 廃水銀等	テ 合計	(単位:トン)
① 排出量	0.60			179.00														179.60	
②+③ 自ら再生利用を行った量	0			0														0	
④ 自ら熱回収を行った量	0			0														0	
⑤ 自ら中間処理により減量した量	0			0														0	
⑥+⑦ 自ら埋入処分又は海洋投入処分を行った量	0			0														0	
⑧ 全処理委託量	0.60			179.00														179.60	
⑨ 優良認定処理業者への処理委託量	0.60			179.00														179.60	
⑩ 再生利用業者への処理委託量	0			0														0	
⑪ 認定熱回収業者への処理委託量	0			0														0	
⑫ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0			0														0	
⑬ 当該事業場における排出量	0.60			179.00														179.60	
※1 自社の他事業場からの搬入量																			
⑭ 自ら直接再生利用する量																			
⑮ 自ら直接埋立処分する量																			
⑯ 自ら中間処理する量																			
⑰ ⑭のうち熱回収を行う量																			
※2 自社の他事業場での処理量																			
⑱ 自ら中間処理後の残さ量																			
⑲ 自ら中間処理により減量する量																			
⑳ 自ら中間処理後に再生利用する量																			
㉑ 自ら中間処理後に自ら埋入処分又は海洋投入処分する量																			
㉒ 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量する量																			
㉓ 自ら中間処理後の処理委託量																			
㉔ 中間処理委託量																			
㉕ 再生利用前委託量																			
㉖ 最終処分前委託量																			
㉗ 下水等放流前委託量																			
㉘ 最終処分委託量																			
㉙ 直接処理委託量	0.60			179.00														179.60	
㉚ B-1 中間処理委託量	0.60			179.00														179.60	
㉛ 再生利用前委託量																			
㉜ 最終処分前委託量	0.60			179.00														179.60	
㉝ 下水等放流前委託量																			
㉞ B-2 最終処分委託量																			
㉟ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量	0.60			179.00														179.60	
㊱ ㉟のうち優良認定処理業者への処理委託量	0.60			179.00														179.60	
㊲ ㉟のうち再生利用業者への処理委託量																			
㊳ ㉟のうち認定熱回収業者への処理委託量																			
㊴ ㉟のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																			

令和5年度目標

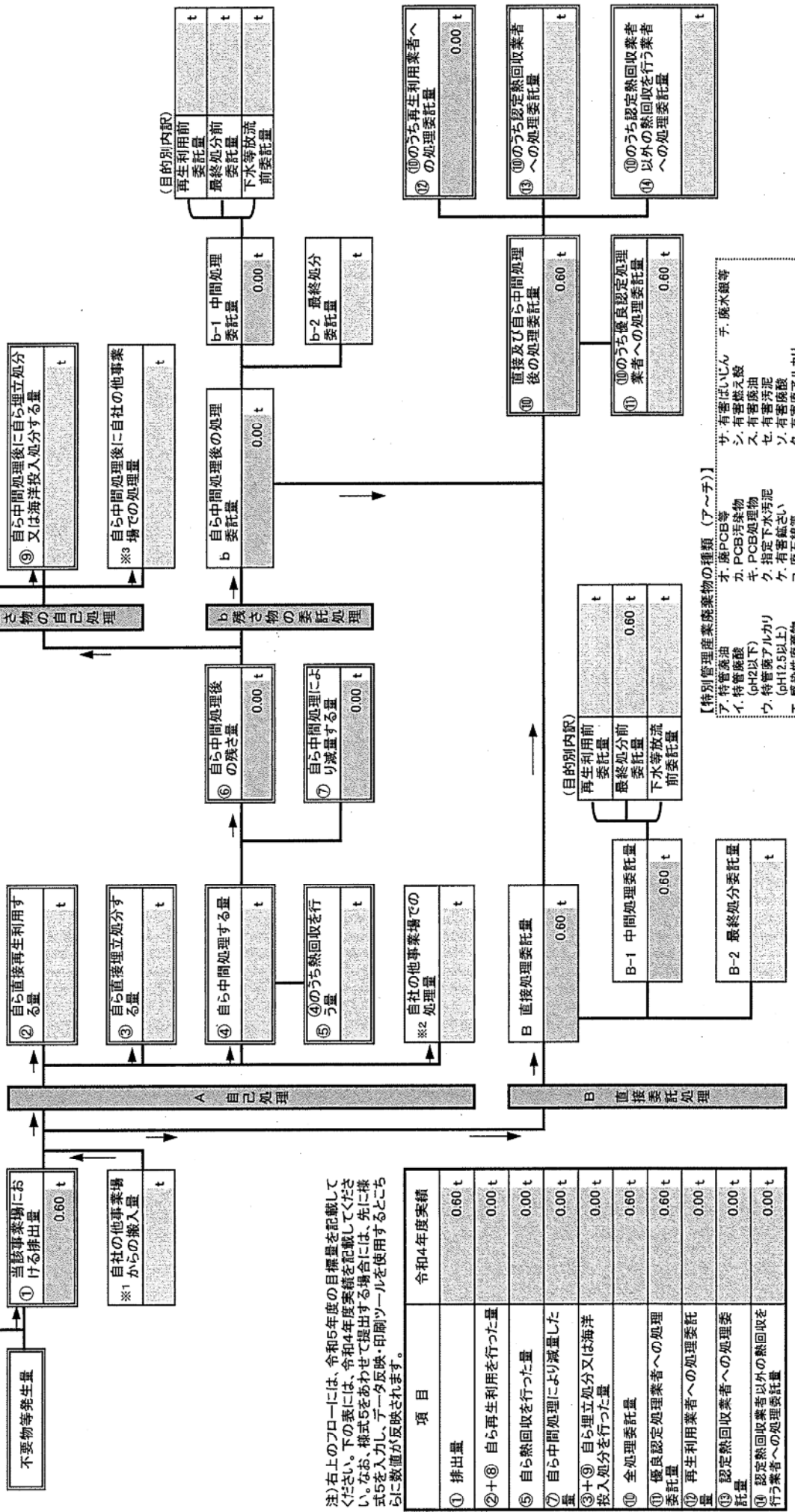
特別管理産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する特別管理産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

ア. 特管廃油
 処理産業廃棄物の種類
 ※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



【特別管理産業廃棄物の種類 (ア～チ)】

- ア. 特管廃油
- イ. 特管廃酸
- ウ. 特管アルカリ (pH2以下)
- エ. 特管アルカリ (pH12.5以上)
- エ. 感染性廃棄物
- オ. 腐食性廃棄物
- カ. PCB若毒物
- キ. PCB処理物
- ク. 指定下水汚泥
- コ. 腐石綿等
- サ. 有害ばいじん
- シ. 有害燃え殻
- ス. 有害廃油
- セ. 有害汚泥
- ソ. 有害酸液
- タ. 有害アルカリ

注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、精式5をあわせて提出する場合には、先に様式5を入力し、データ反映・印刷ツールを使用することからに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.60 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩ 全処理委託量	0.60 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.60 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

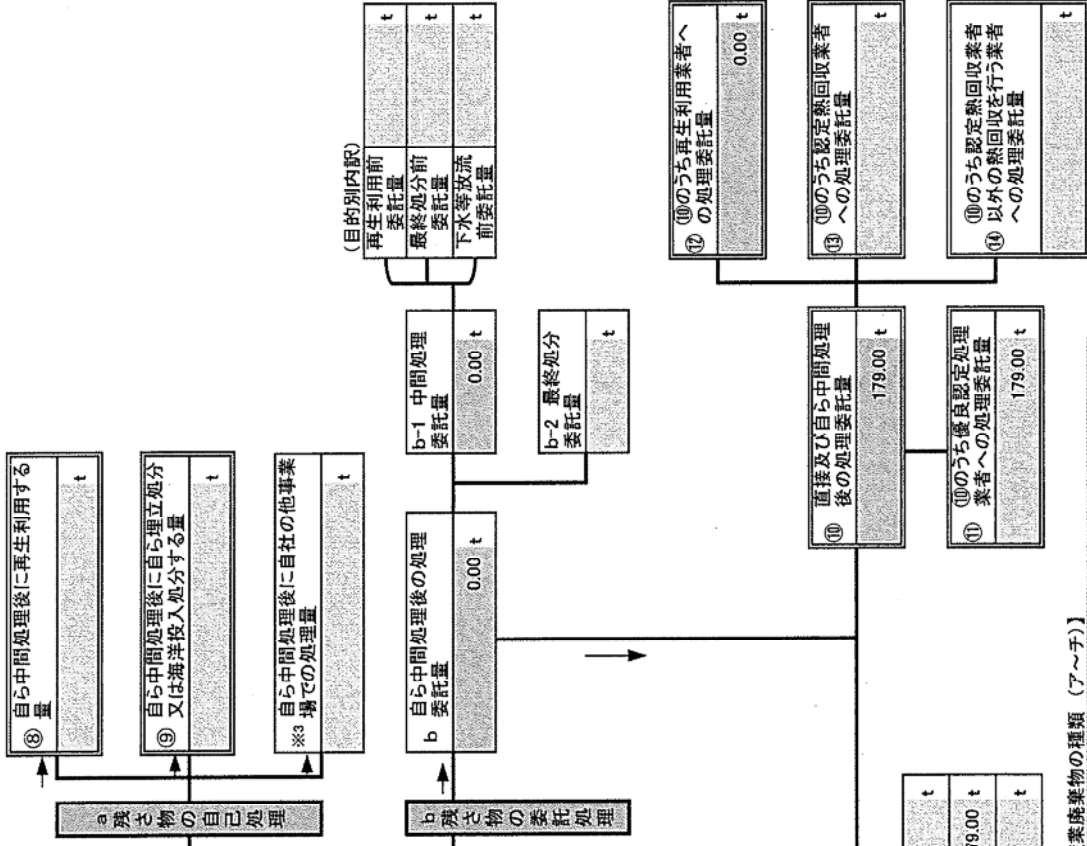
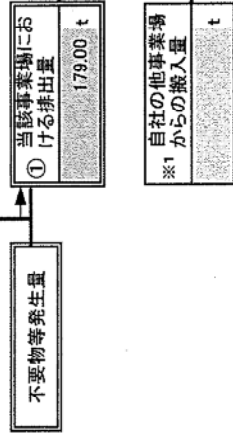
特別管理産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する特別管理産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

工. 感染性廃棄物
 フローに記載した特別管理産業廃棄物の種類
 ※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



【特別管理産業廃棄物の種類 (ア～チ)】

- ア. 特管廃油
- イ. 特管廃酸 (pH2以下)
- ウ. 特管廃アルカリ (pH12.5以上)
- エ. 感染性廃棄物
- オ. 廃PCB等
- カ. PCB汚染物
- キ. PCB処理物
- ク. 指定下水汚泥
- ケ. 有害鉱さい
- コ. 廃石棉等
- サ. 有害ばいじん
- シ. 有害燃え殻
- ス. 有害廃油
- セ. 有害汚泥
- ソ. 有害廃酸
- タ. 有害廃アルカリ

法) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、構式5をあわせて提出する場合には、先に構式5を入力し、データ反映・印刷ツールを使用することからに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	179.00 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩ 全処理委託量	179.00 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	179.00 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t